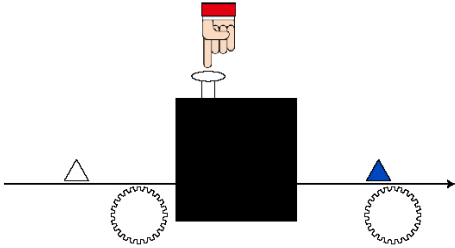


「...が...の原因であった。」とは？

石黒 真木夫 統計思考院 特命教授

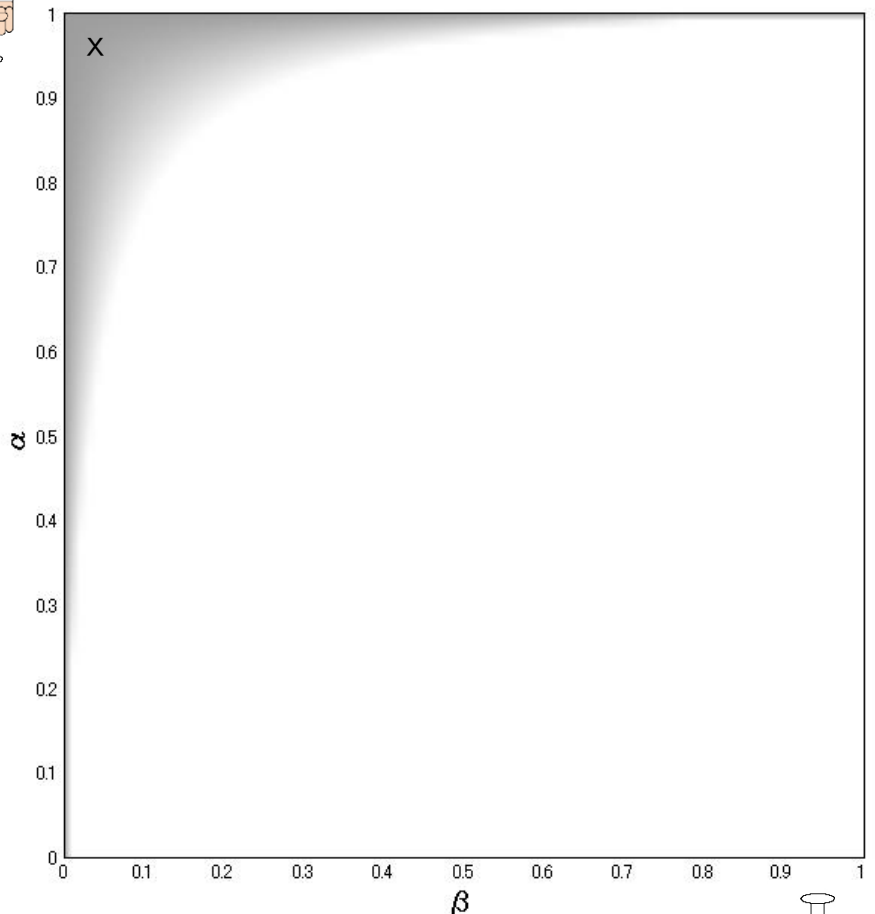
このポスターは読者に記入して頂くことによって初めて完成します。
ご協力、お願いいたします。



コンベアベルトに運ばれた白い三角が次々に黒い箱を通っていきます。このとき確率 β で青い色がつきます。三角が箱の中にあるときにあなたが箱の上のボタンを押すと青い色になる確率が α になります。

あるとき、あなたがボタンを押したら、青い三角が出てきました。 $\alpha=1.0$, $\beta=0.0$ だったら三角が青になったのはあなたがボタンを押したからだったと言うでしょう。もし、 $\alpha=0.01$, $\beta=1.0$ だったらあなたがボタンを押したから三角が青くなったとは言わないでしょう。

あなたが「ボタンを押したから三角が青くなった」と言うであろう最小の α と最大の β の組み合わせを下の図面にステッカーを貼ることで示してください(できるだけX点から遠く $\alpha = \beta$ の線に近いグレイの薄い位置を選んでくださいということです)。



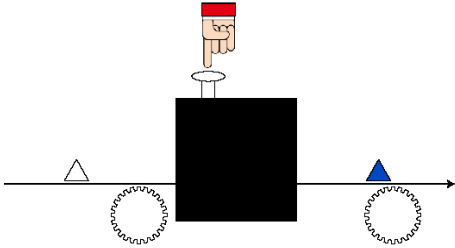
「原因」を追究することは、日常的に普通に行われていることですが、少し考えると、何かが起きた原因突き止めることが非常に難しいことがすぐに分かります。できれば、こんな難しい問題には手を出したくないものですが、統計的な側面があることは確かです。

ことがらAとことがらBの関係の確率的な構造は同じでも、「文脈」によってAをBの原因と考えるのが適当な場合と、そうでない場合があるということは大いにありえることです。このポスターでは、そのような文脈の影響をできるだけ排除したく、できるだけ無機的な状況を設定しました。現実世界のなまぐさいさまざまなことが、確率的には全く同じ構造を持っている例を挙げるのは容易ですが、避けました。

「...が...の原因であった。」とは？

石黒 真木夫 統計思考院 特命教授

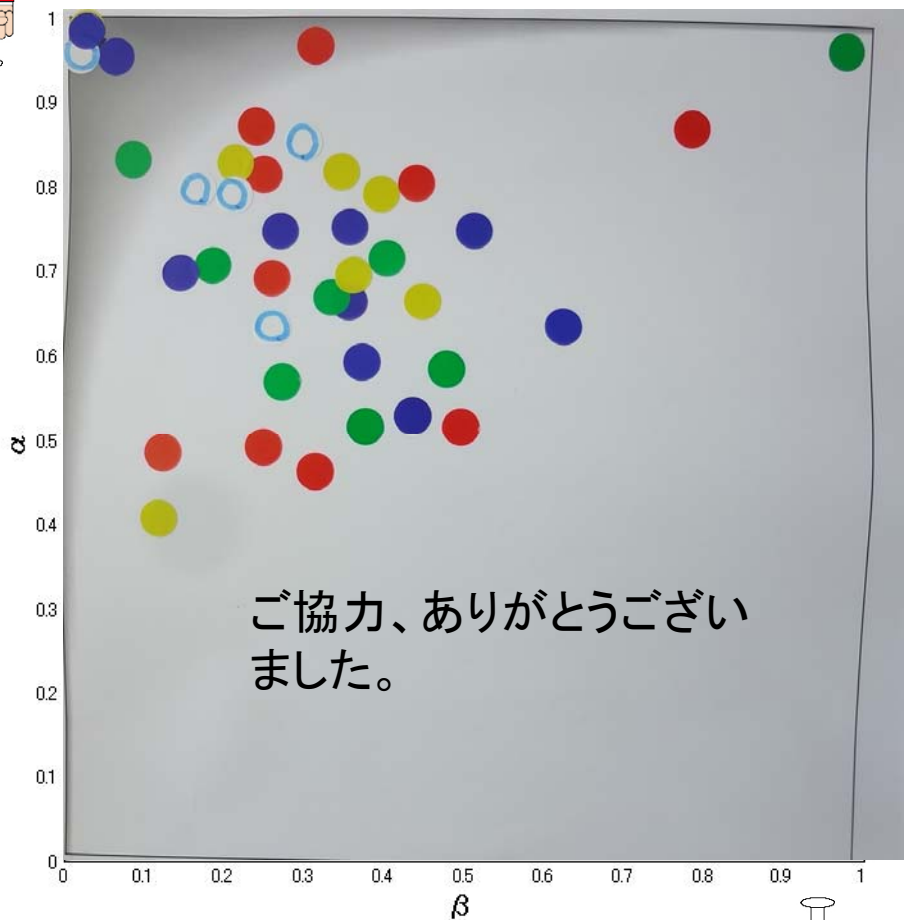
このポスターは読者に記入して頂くことによって初めて完成します。
ご協力、お願いいたします。



コンベアベルトに運ばれた白い三角が次々に黒い箱を通っていきます。このとき確率 β で青い色がつきます。三角が箱の中にあるときにあなたが箱の上のボタンを押すと青い色になる確率が α になります。

あるとき、あなたがボタンを押したら、青い三角が出てきました。 $\alpha=1.0$, $\beta=0.0$ だったら三角が青になったのはあなたがボタンを押したからだったと言うでしょう。もし、 $\alpha=0.01$, $\beta=1.0$ だったらあなたがボタンを押したから三角が青くなったとは言わないでしょう。

あなたが「ボタンを押したから三角が青くなった」と言うであろう最小の α と最大の β の組み合わせを下の図面にステッカーを貼ることで示してください(できるだけX点から遠く $\alpha = \beta$ の線に近いグレイの薄い位置を選んでくださいということです)。



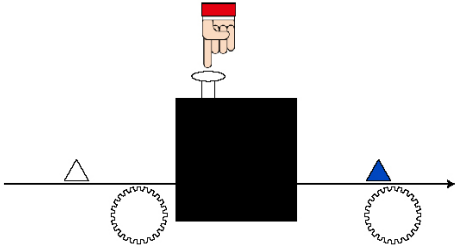
「原因」を追究することは、日常的に普通に行われていることですが、少し考えると、何かが起きた原因突き止めることが非常に難しいことがすぐに分かります。できれば、こんな難しい問題には手を出したくないものですが、統計的な側面があることは確かです。

ことがAとことがBの関係の確率的な構造は同じでも、「文脈」によってAをBの原因と考えるのが適当な場合と、そうでない場合があるということは大いにありえることです。このポスターでは、そのような文脈の影響をできるだけ排除したく、できるだけ無機的な状況を設定しました。現実世界のなまぐさいさまざまなことが、確率的には全く同じ構造を持っている例を挙げるのは容易ですが、避けました。

「...が...の原因であった。」とは？

石黒 真木夫 統計思考院 特命教授

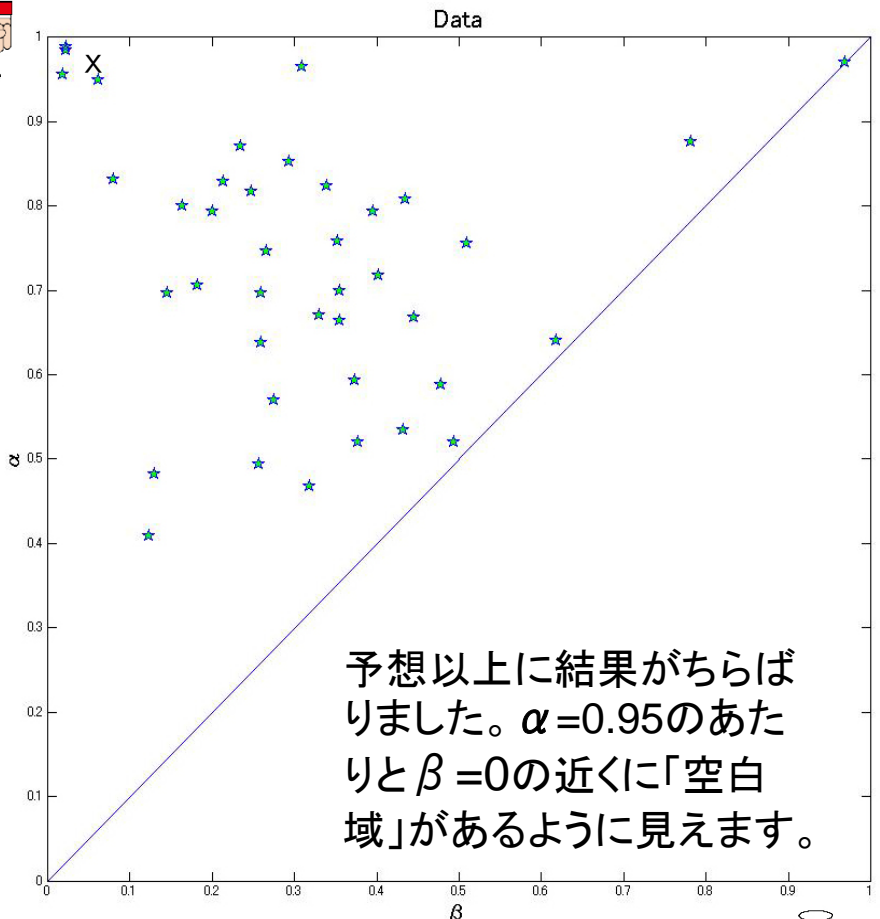
このポスターは読者に記入して頂くことによって初めて完成します。
ご協力、お願いいたします。



コンベアベルトに運ばれた白い三角が次々に黒い箱を通っていきます。このとき確率 β で青い色がつきます。三角が箱の中にあるときにあなたが箱の上のボタンを押すと青い色になる確率が α になります。

あるとき、あなたがボタンを押したら、青い三角が出てきました。 $\alpha=1.0$, $\beta=0.0$ だったら三角が青になったのはあなたがボタンを押したからだったと言うでしょう。もし、 $\alpha=0.01$, $\beta=1.0$ だったらあなたがボタンを押したから三角が青くなったとは言わないでしょう。

あなたが「ボタンを押したから三角が青くなった」と言うであろう最小の α と最大の β の組み合わせを下の図面にステッカーを貼ることで示してください(できるだけX点から遠く $\alpha = \beta$ の線に近いグレイの薄い位置を選んでくださいということです)。



「原因」を追究することは、日常的に普通に行われていることですが、少し考えると、何かが起きた原因を突き止めることが非常に難しいことがすぐに分かります。できれば、こんな難しい問題には手を出したくないものですが、統計的な側面があることは確かです。

ことがらAとことがらBの関係の確率的な構造は同じでも、「文脈」によってAをBの原因と考えるのが適当な場合と、そうでない場合があるということは大いにありえることです。このポスターでは、そのような文脈の影響をできるだけ排除したく、できるだけ無機的な状況を設定しました。現実世界のなまぐさいさまざまなことが、確率的には全く同じ構造を持っている例を挙げるのは容易ですが、避けました。